

平成29年小田原市議会12月定例会

総務常任委員会資料

資 料 名	所 管 課	頁
旧片浦中学校施設活用事業について	企 画 政 策 課	1
小田原市立下中小学校飲料水兼用耐震性貯水槽 緊急遮断弁改修工事について	防 災 対 策 課	3

平成29年12月 5 日

旧片浦中学校施設活用事業について

1 事業概要

旧片浦中学校施設について、市は学校法人国際学園（星槎グループ）と土地・建物賃貸借契約を締結し、星槎国際高等学校小田原キャンパスとして活用いただく。

2 補正予算内容

- (1) 平成30年1月1日～同年3月31日までの3か月分の土地・建物貸付収入を予定するとともに、その同額について、必要が生じた場合に市が負担する修繕費として計上する。

土地・建物貸付収入 1,012千円

算出根拠：建物 月額99,000円×3か月=297,000円

土地 月額24.8円/㎡×9,619㎡×3か月=715,650円

(月額10円未満四捨五入)

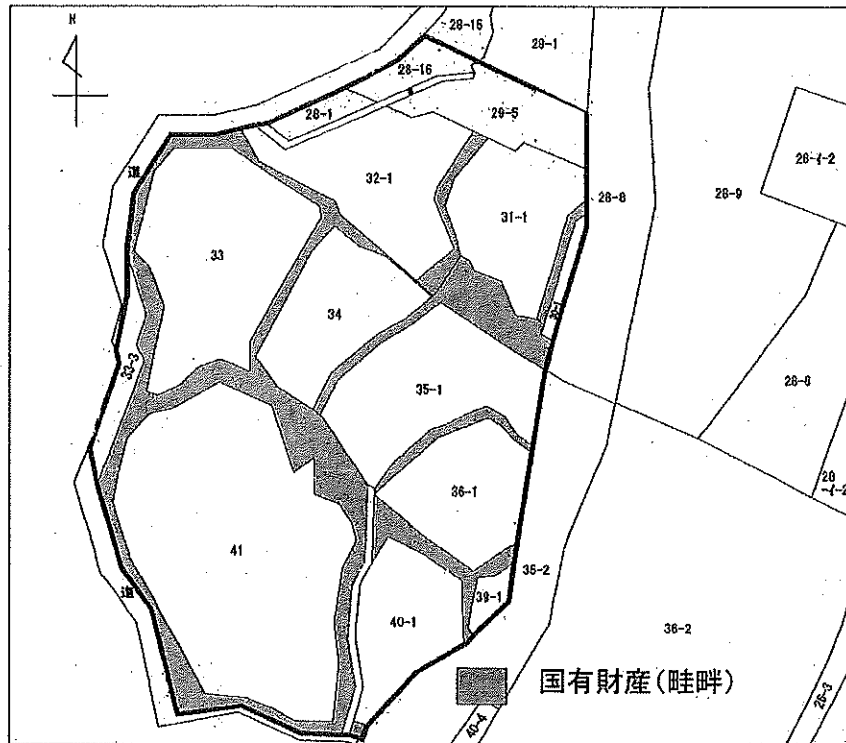
修繕費 1,012千円

- (2) 賃貸借契約を締結するに当たり、必要となる敷地内に存在する国有畦畔を取得する。なお、国有畦畔の面積は1,528.69㎡である。

土地借上料（過去10年分） 350千円

用地購入費 7,300千円

3 用地の現況

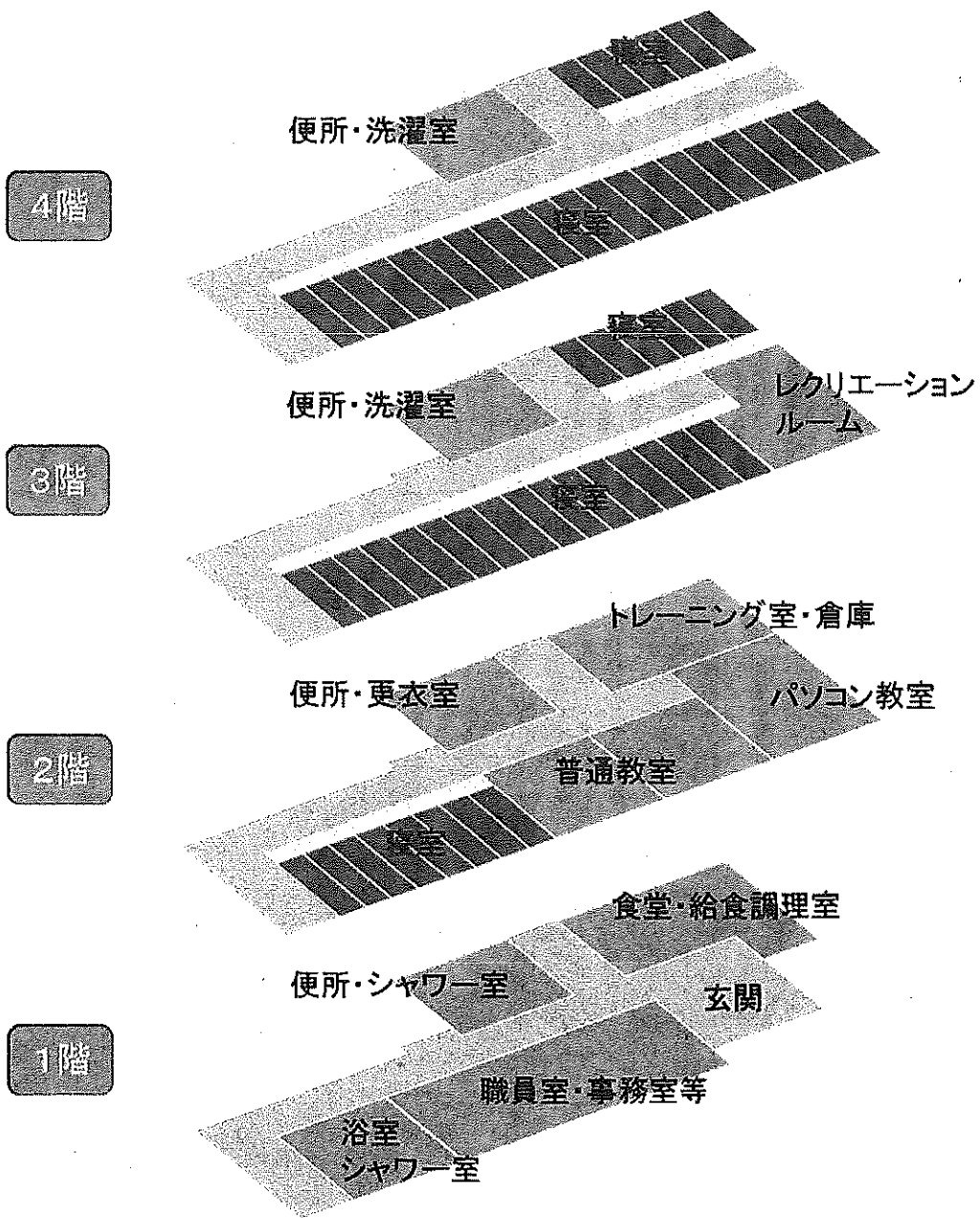


4 今後のスケジュール

平成 30 年 1～3 月 国有財産払下げ、本契約締結、改修工事

4 月 学校教育施設（スクーリングセンター・学生寮）供用開始

5 星槎国際高等学校小田原キャンパス改修予定平面図



小田原市立下中小学校飲料水兼用耐震性貯水槽 緊急遮断弁改修工事について

1 経緯

小田原市立下中小学校の飲料水兼用耐震性貯水槽は、平成12年度に災害発生時における住民の飲料水確保を目的として設置したが、平成29年度の定期点検（年2回実施）において、災害時に貯水槽への汚水流入及び貯留した水の流出を防止する働きをする緊急遮断弁のうち、貯水槽への流入側の遮断弁が正常に作動しない状況が判明した。

この動作不良により、災害時には遮断弁が自動で閉まりきらず、貯水槽内への泥水などの流入を防ぐことができないおそれがあるため、改修を行う必要が生じた。

2 内容

緊急遮断弁改修工事一式

今回動作不良が判明した流入側の緊急遮断弁の改修を行うとともに、流出側の緊急遮断弁についても、設置後17年が経過し、経年劣化により動作不良を生ずる可能性があることから、本工事において併せて改修を行う。

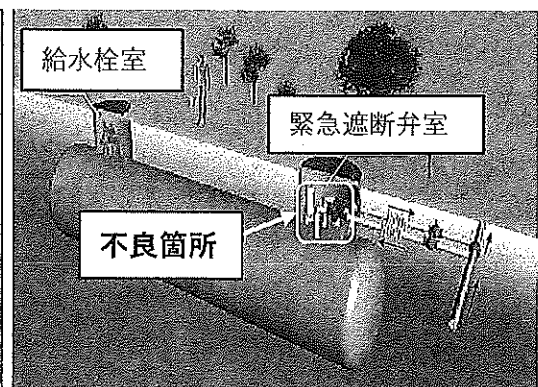
3 予算額

2,140千円

4 スケジュール

	平成29年		平成30年		
	11月	12月	1月	2月	3月
契約事務		← →			
工事期間			← →	← →	

5 位置図等



工事箇所

飲料水兼用耐震性貯水槽 位置図

